

ニトヌプリ（1080m）目国内（1202m）

平成 30 年 3 月 17 日～18 日

2 日目（18 日）目国内岳（1202m）CL スノーシュー L 藤木た スキー L 藤木晴 西田

参加者 スキー 山岸 小山内 渡邊 水江 酒井 後藤 太田 門間 笹山

スノーシュー 永宮 本野 及川 西田 鈴木 川村 荒谷

7:15 ヒュッテ出発、7:45 目国内岳当日参加者 6 人と新見温泉駐車場で合流

8:15 登山開始、ボーダー 4 人組が一足先に出発、林道から林間に入り渡渉地点へと向かう
雪が多く不安なく渡渉し、良い斜度を直登する感じで高度を上げる。

10:00 ポコ、頑張って登って来た人にご褒美のようなゆったりとした台地、ちょっと休憩

10:30 平坦地を抜け目国内岳の斜面が広がり大岩を目指して行く。
下山してきた男性、何かを探している様子、相方を見失ったとか、



我がスノーシュー班、相方発見 「左下、林の中にいるぞ～～」 確かに風が強くなり、見通しが悪くなってきた。後ろを振り返り帰りのルートを確認するようにアドバイスを受ける



11:00 強風、左手並行して頂上目指していたボーダー 4 人組の姿があつという間に地吹雪の中に消えては現れ、間もなく

全く見えなくなる。スノーシュー班、撤退決定、

11:30 スキー班 1100m 付近、ますますの強風、写真を撮って即撤退する事に。緩斜面の雪面はさほど凍っておらず、大岩目指して滑走、少し下って林間に入れば風は止み。

12:00 862m ポコ付近スノーシュー班と合流、昼食
ポコから渡渉地点までの林間を、少し湿り雪ながらも気分爽快に滑り降りる。楽し～～い、楽し～～い。



13:00 渡渉地点を過ぎシールを張り新見ゲレンデを目指す。オマケは貰わないと心残り。

13:30 おまけゲレンデを思い思いに滑り降りた所、計算したようにスノーシュー班と合流
本当に気の合ったグループなのです。

13:45 札幌の 2 人と別れ帰路へ、

2 日間、ニセコの山々を楽しみました。リーダー、サブリーダー、食事担当、車を運転の皆様、有難うございました。

記録 笹山